



Profile

サステナブル阿南

SUP『サップ』を通じて地域おこしを行う団体。SUPは、スタンドアップ・パドルボードの略。SUPの楽しさに魅せられた代表の篠原さんが阿南市の豊かな自然とアクセスの良さを活かし、地域おこしに活かさないかと阿南市に働きかけた。それにより2019年よりSUPによる関係人口の創出や地域経済の拡大を図る「阿南SUPタウンプロジェクト」が始動している。



地域のパートナーとともに SUPで紡ぐ阿南愛

「SUPは、子どもから高齢者まで楽しめるマリンスポーツ。75歳の方もチャレンジしていますよ」というサステナブル阿南の篠原好貴代表。県外からのリピーターも多くSUPを使った地域おこしの取り組みは、専門誌にも取り上げられるなど全国的にも注目を集めている。

SUPを行う際には航路を妨げないこと、貝やタコなどの密漁をしないことや服装についても細かな規定を設けて、関係する漁協と協定を結んでいる。また、海や川の美しい景観を維持していくため、定期的に清掃活動も行う。海を使わせていただくという謙虚な思いで、ルールを遵守することをなによりも大切にしている。

拠点となっている淡島海岸の『GOGO SUP&CAFE』は、使われていないたこ焼き店を改修して作った。また、その裏の『あわしまシーサイドコテージ』は廃業した民宿跡地を利用している。このように新しいものを作らなくても、「今ある空き家などを改築し、人々が集う飲食店や宿泊施設などのスポットにすることができる」という篠原さん。今後、淡島海岸にこのようなスポットを作り、SUPも含めて、多くの人が集う賑わいのある場所にしたいと夢を語る。もちろん、それは自分だけではできない。多くの人と繋がって、『淡島ビーチタウンプロジェクト』は、少しずつ前に進む。